

受入研修

ASEAN向け建築分野における最新の省エネ技術普及のための研修（ECAP29） をオンラインセミナーにて実施

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁からの委託で、2013年から、ビルの省エネに関する日本の進んだ省エネ政策、技術、優秀事例などの情報提供とAMSにおける課題についてのグループ討議を実施してきている。

2016年のパリ協定の発効以来、温暖化ガスの排出削減・低炭素化への取り組みがより重要な課題として取り上げられ、日本の建築分野の主要省エネ政策であるゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の普及をASEAN内にも展開することを、JASE-Wと連携して取り組んできた。この活動はASEAN Energy Award（ASEANエネルギー賞）のZEBカテゴリーの創設と日本のZEB推進アプローチ（ZEB Family Concept）に関する国際標準（ISO / TS23764）の制定への貢献などの成果をあげた。

上記背景を踏まえ、ECAP29では、本年度より開始されたAJEEP Scheme 5の活動の1つとして、建築分野におけるカーボンニュートラル（CN）に向けた取組をテーマに、ASEANにおけるZEBの普及を目指したセミナーを実施した。



参加者集合写真

【実施内容】

- (a) 日本のZEB普及の政策とその現況の紹介
 - ・ ZEB プランナー制度とZEB設計ガイドラインの紹介（SII：環境共創イニシアチブ）
 - ・ ZEBへの更なる認識向上のためECCJが実施している省エネ大賞におけるZEBカテゴリー受賞事案紹介（受賞者から）
- (b) AJEEP Scheme 5 の活動を踏まえた内容
 - ・ ZEB改修ビル事例、ZEB実現のためのTechnologiesの紹介
 - ・ ZEBプロジェクト実現に向けた省エネ診断に関するディスカッション
- (c) ASEAN側からのZEB実現に向けた取り組み
 - ・ ASEAN Energy Awardの受賞ビル（ZEB）等の紹介
- (d) ZEBのオンラインによる見学会（ZEBへの改修事例）

【成果】

- （1）カーボンニュートラル実現に向けたZEBの有効性が理解された。
- （2）改修によるZEBが実現している事例を通じて、新設でなくともZEB化が可能であることを示し、AMSのZEB普及意欲が高まった。

注)

AMS：ASEAN Member States

ECAP：Energy Conservation Workshop under
AJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)

ZEB：Zero Energy Building

JASE-W：Japanese Business Alliance for Smart Energy Worldwide